

曾野木地区 第1回ワークショップの結果概要（案）

【財産経営推進計画の基本的な考え方】

■最適化の考え方

- ・ 市全体にとってどのような機能を持つ施設が必要かを検討した上で、江南区にはどのような機能を持つ施設があるべきかを考え、最適化を進めていく必要があるのではないか。
- ・ 次世代を担う子どもたちを見守り、育てることができる地域、高齢者が安心して暮らすことができる地域という将来像を描いて、それを目指してこの地域にどんな機能を持った施設が必要かを考えたい。
- ・ 利用率が低くても、行政として整備すべき公共施設があるのではないか。利用率だけを基準にして最適化を考えてほしくない。
- ・ 地区外までを活動範囲と捉えて、地区内にない施設などは他の地区のものを利用するという考え方もあるだろうが、地図上では近くに見えても高速道路等を境にエリアとしては分断されている意識が強いこともある。生活する上で必要な公共施設が地区内にひとつおき揃っていることが大切だと思う。
- ・ 人口を単位として施設配置を考えると、区の面積が広い場合は移動が大変になってしまう。単純に人口を基準にするのではなく、実情に合わせた配置を考えていく必要があるのではないか。
- ・ 潟東地区のように公共施設を集約するのは良い事例だと思う。曾野木地区ではすでに集約化されているが、地区内の施設バランスを考えて施設を分散させる場合には、機能分担し、相互のアクセス性を高めて行き来できるようにするのが望ましい。

【公共施設の現状の課題】

■地区内の施設バランス

- ・ 公共施設が公民館周辺に集中しているため、住んでいる場所によっては遠く、不便を感じる。
- ・ 曾野木団地の周辺には、大きめの会議やイベントができる集会施設や高齢者向けの施設がないため、公民館や老人憩いの家まで足を延ばさなければなら

ないが、高齢化が進んで移動も大変になってきているので、団地エリアにも同様の施設がほしい。

■施設までのアクセス

- ・ 施設が集中しているにも関わらず、公民館エリアへのアクセスに問題がある。公民館に向かう道路に歩道がなく照明が暗くて歩くのは危険だし、駐車場の狭いため車でも行きにくい。
- ・ 車を利用する人にとっては市の中心部が近く、近隣地域の施設にも行けるので便利だが、高齢になって運転ができなくなると、徒歩圏に買い物できる店舗や病院などが不足しているため不便だ。
- ・ 通学、買い物、健康診断などの日常の用事を足すために他の地区まで行く必要があり、車を使えない学生や高齢者は区バスを使わざるを得ないが、本数が少ないため使い勝手が悪いので改善してほしい。

■利用率

- ・ 地区内に大人数の入ることのできる広いスペースが公民館のホール以外ないため、趣味のサークル活動や各種団体の集会などをやる場合には集中してしまい予約が取りづらい。スペースが狭いため参加者が入りきれない場合もある。
- ・ 生徒数の減少などの要因で東曾野木小学校の体育館の夜間利用は減少しているが、曾野木小学校の体育館の夜間利用は増加しており、施設によって利用率に差が出てきている。

■運営方法・使い勝手

- ・ 公共施設は何をしているのかわからないので入りにくい雰囲気があり、利用の仕方もわかりにくい。もっと多世代が興味を持つような情報発信をする、イベントを開催して認知度を上げるなどの工夫が必要ではないか。
- ・ 公民館内の図書室は開館日程が限られており、狭くて学習スペースもあまりないので使いづらい。オンライン予約ができたり、新刊が入るくらいの充実した図書館レベルの規模やサービスを提供できないと利用されないのではないか。
- ・ 学校の体育館は個人では利用できず、料金や利用の際のルールも厳しいので

使いづらい。グラウンドに夜間使える照明設備がなく、設備的にも他地区より整っていない。個人でも使える体育施設の充実が必要だ。

- ・ 地区内に連絡所があることで、市役所や区役所に行かなくても手続きなどができるのは便利だ。

■子育て支援

- ・ 曾野木地区には世帯数の割に子どもの数が多いが、地区外からの保育園利用者も多く、地元住民が入れない、兄弟別々の保育園へ通うような状況が起きている。地元住民を優先するなどの対策が必要ではないか。
- ・ 保育園の送迎は車が多いにも関わらず駐車場が少ないため、朝夕の時間帯やイベント時には多数の路上駐車が発生する。区バスも通る道なので非常に危ないと近隣から苦情が出ている。
- ・ 東曾野木小学校と東曾野木ひまわりクラブは距離があり、部屋も狭い。小学校と併設もしくは隣接できないか。
- ・ 地区内に子供たちが快適に屋内で遊べる場や親子で安心して憩える公園がない。公民館をもっと開放的で明るくしたり、舞平公園にフィールドアスレチックを整備して有効活用できると良い。
- ・ 東曾野木小学校の児童は公民館まで距離があるため、公民館でのイベントに参加できない。小学生は子どもたちだけで小学校区から出れないという規制もあるので、ルールの改善と共に東曾野木小学校の周辺にもイベントが開催できる施設が必要だ。
- ・ 中高生の学習スペースがなく、新潟市街地の方まで足を伸ばしている。区バスの時間も限られているので近くにほしい。

■避難所

- ・ 曾野木団地の避難所は東曾野木小学校になっているが、高速道路を挟んで距離があるのに加えてスペースも狭い。高齢者が安心して暮らせることを考えると、避難所は身近な場所に分散して配置してほしい。
- ・ 東曾野木小学校区や丸瀧地域、祖父興野地域の周辺は津波や洪水の際の避難場所に適した高層の公共施設がなく、高齢者や足の不自由な人は近くに避難場所がないと逃げられないので不安だ。
- ・ 避難所となっている学校や保育園までの経路となる道路の広さなどにも配

慮してほしい。ことぶき保育園周辺は間口や道路が狭く、災害時の避難経路として不安である。

【公共施設に対する提案・要望】

■望まれる機能

- ・ 高齢者と子どもたちが交流できる居場所ができれば地域が活気づくと思う。市営住宅跡地に作る施設に複合できないか。
- ・ これからの高齢化社会に対応して、健康センターを健康維持のための施設にしたり、公民館を明るい雰囲気にして高齢者の交流の場にできると良い。
- ・ 大人数で集まれる施設が今は公民館のホールしかなく、その収容人数も限られているので、公民館よりも大きなスペースのホールがもう1つほしい。曾野木団地周辺のエリアに施設ができれば、2つのホールで分担しながら区内でイベントを開催できる。
- ・ 中高生のための学習スペースやスポーツ施設が区内にあると良い。
- ・ 東曾野木小学校区に小学生も大人も通える図書館がほしい。
- ・ 保育園の統合が検討されているというがやむを得ないことだろう。統合して施設が充実し、広い駐車場も整備されるならむしろ歓迎する。
- ・ 健康センターや近隣の病院がなくなってしまったので、診療所を設けて定期的に出張診療を受けられるようになると良い。
- ・ 舞平公園は災害時に避難場所としても機能するようにかまどベンチなどの防災施設を充実させてほしい。
- ・ 子どもにとって住みやすい環境を整えると言っても、まずはその親世代がこの地域に来なければだめなので、中堅の30~40代が満足できるサービスを充実させれば人口が増えるのではないか。

■市営住宅跡地

- ・ 昔から市街化されている公民館周辺エリアと比較的新しい曾野木団地エリアとでは物理的にも意識的にも距離があり、コミュニティも2つに分かれてしまう傾向にあるので、新しくコミュニティ施設をつくることで地区としての一体感を形成したい。
- ・ 公民館エリアの住民にとっても行きやすく、使いやすい施設になり、団地エリアとの交流が促進できるようにするには、区バスなどでのアクセスを良く

する工夫が必要だ。

- ・ 複合化、多機能化すれば、地区に様々な機能を持った施設ができるので地域の利便性が高まることに期待している。
- ・ 避難所としても利用できる施設になるように、3 階建以上の建物をつくり、防災備蓄倉庫などの防災設備を充実してほしい。
- ・ 新しくできるコミュニティ施設が青少年の健全育成につながるものになると良い。
- ・ 販売所などを複合しても地元の人が利用しないと維持できない。地元住民にとって身近で、利用したくなる施設になることが大切だ。
- ・ 新しい複合施設の管理は誰がするのか。コミュニティ協議会に管理が委託されるとしたら、事故の際の責任の所在が気になる。

【検討の進め方】

■ワークショップの進め方

- ・ 曾野木地区のワークショップ回数が他の地区と比較して少ないのはなぜか。3 回だけで意見がまとまるのか心配だ。
- ・ 平日昼間の開催だと働いている人にとっては参加しづらいので、平日夜間や土日の開催を検討してほしい。
- ・ 全員にとって都合の良い日程は難しいと思うが、幅広い層の意見を聞いた方が良いので、時間帯を固定せずに平日夜間、休日などいろいろなパターンで開催してはどうか。
- ・ 3 時間は予定を抑えるのが難しく、体力的にもきついので、事前の資料配布などで説明時間を短縮し、開催時間を 2 時間にできないか。
- ・ ワークショップメンバーにもっと若い世代がいたら、幅広い意見が聞けると思う。
- ・ 今回のワークショップのように自由に意見を出せる場があることは良いことだ。

■情報提供

- ・ 説明資料にはなるべく横文字を使わず、わかりやすい日本語にしてほしい。
- ・ ワークショップの時間を短縮するためにも事前に資料を配布してほしい。次回の議題が事前にわかっていたら話すことの準備もできる。

- ・ 他のグループで出された意見も知りたいので、議論のまとめを配布してほしい。

【その他】

- ・ 現況では、地域活動の各組織は小学校区単位になっているので、中学校区での一体的なコミュニティづくりを進める際に効率が悪い。中学校区単位でのルールづくりをしていくためにも組織再編を検討する必要があるのではないか。